人倫訓蒙圖彙　三

11
7
280

始

僧業部　次業用

茶師

業はじめてよりこれを建仁寺の開山
栄西宋国に入て茶の実をえて肥前せり又ぬ上
人梅尾山の植ゆるを始めりとや中古よりこれ
をもてあそぶの侵場業成つて業とせりこれ
ひとつの生涯なり宇治の里ふ植ひろめ
ひろめり業なるの法式ひたぶるまりて世よ
ひたぶるの業は鄙よりとつくるなり

農夫

農夫は国家の大業なりて人とやしなふ功あり
ゆへに上天子といへども躬ずからをもつて
耕の業ゆるしもうんまをかけるわ
くのもの改国古泰平の基業なり

内交

上林
茶師
浦

蒔とり植の時は文蔵
苗代時は地蔵稲の穂
蔵米稲よろの時は
善男餅の時は観世音
なりしく

綿掻

白引のうは田と
かりくい糸ゝまきのくせ
ぐとゝ引ゝ引ゝすり
引ゝすりすりゝ
て一風あるをふく

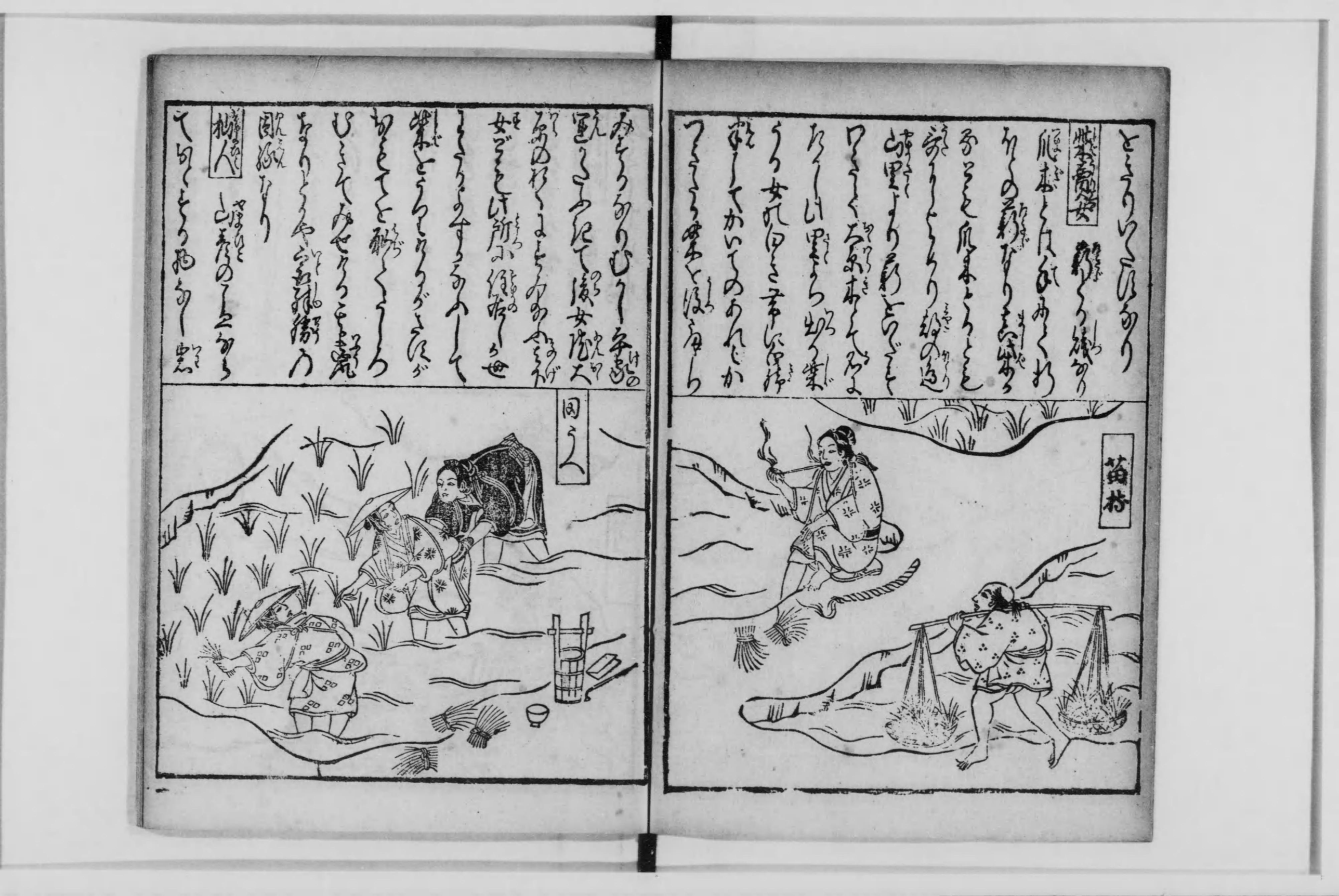
牛飼

茅部牛ゝ
合物なりの茅部牛

敷と呼ゝふまゝ
てこ踏れ茅部
いひてゝ引ゝ
ゝゝ撰ハ茅
ゝゝ撰ハ茅
ゝ作ゝ

撰茅

茅部郡原ゝ雁
ゝ業とかりぐ出ゝ
ハ郡市ゝ二郡鞍ゝ
ゝゝ茅とゝ
ゝ出ゝ女
市ゝ出ゝ
里ゝ茅ゝ


苗植
田うえ

りう水ゝ酒とゝのゝよ
りゝゝるゝて人ゝゝゝとゝ
ゝゝたゝ成ゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝ

牛鈍
熊走

の神の御歌をうれしく
よおもて行のもとうれ
あり人よの濱ちり一枝ね
ろうそて船と道そて
れとこ[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

仙人
海人の業
茶師

ますありそれとなくの
ぶ和かやうなそれと
ぶそ向てこうもし
き業あり

漁人

海の猟師なり
網ぶと釣網地れる
しーそ多一つあること
一切の鱗固よりつ
と多くよりしいの
るなり

紀人

紀人も海あらぶ
りの海ようみ国地
役ようぶ紀人こ
そうんじあやうき業
なりあり海の国和より
とうるうべし国紀よ
うりて岩打ぶより
枕とうれふるの危
うこうぶ或海の業
ひうくるものが
ちんとちぶようぶく
あり紀いうまとも

塩焼

波寺

吉助丹

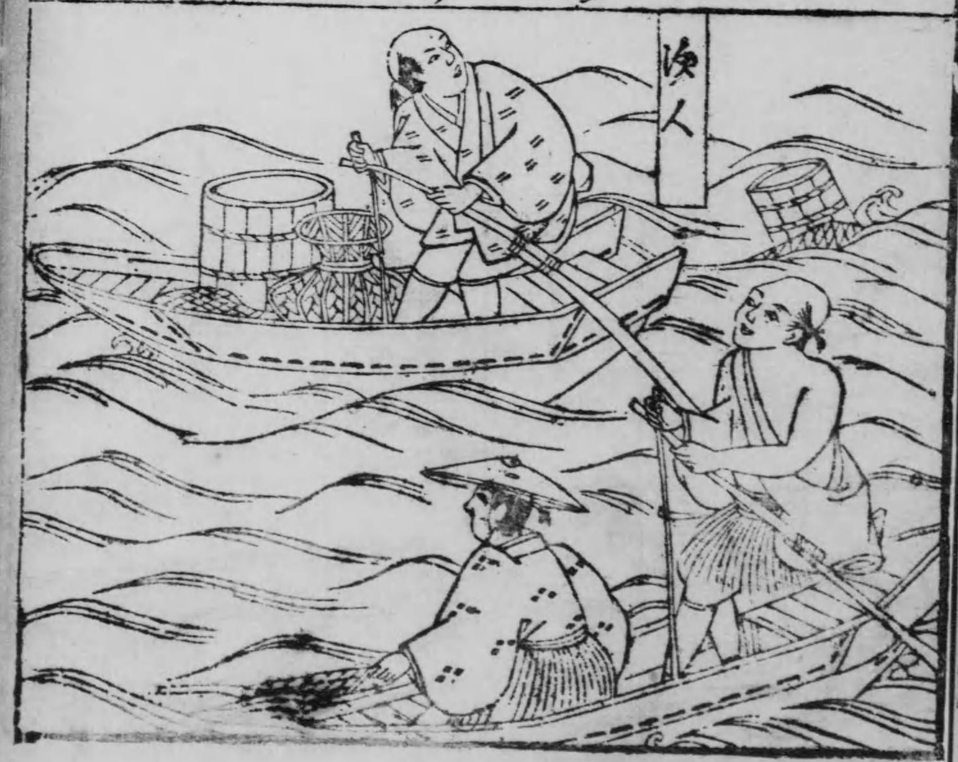
鰒舩

舩のありさまは
漁人とて舩とかぢり
漁人さまざまに出そろ
て四人乗の舩十二艘
と一艘云こと申一人
ちづちつさありとも
と名指しの霊と野
らの或は一番てに
くと一のをり二と二の
ちをらふ有り
ぐづとあらそひ場

有りとるひあり

獵師

狩人といふ
家と長獵師とを
らんとまとこそ所
とをうりぐこそ名
干の船とかいふ人
妻のをひぐしあ
ゲ中に狩人のをは
鰒をとるこそわど



そのむらの絵そのかまんや一切のさ
ぎいかのかれ紙
ぬれども悪服ちら
そこでえらつまか
し敷ぶり業とつ
ちり野ちりと成
ぬしもまてくよるげ
くべしうのしべー

紅葉

織師

ものもの業とて業
しくれとうの素
と撥て糸を中ぬ
つるうしれと熱こう
してうとるうり
計作業ものく殺生ものう
ゆうて戒律の絹ハ
絹ものと殺よまくれ
ものいのしもん

炭焼

ありやしれと
城の業とをうをう
つけて紙をれで少城

持き

一番
鯨舟

竹をもつて世をとつる
なくもとりなくこゑを
聞つゝ　高野八幡
川西の上なる金毘羅三所
上九丁ほどなりぐつ
あり

太鼓師　ひつ賀陽郡
作りあつかつやけ
細工小物ぬりもの
物よりもりぬい彫
彫物里につる大内よ
り時八馬帽子製ものてま

獵師

ものり宮長家作町作
法寺　御上古より代
物なり

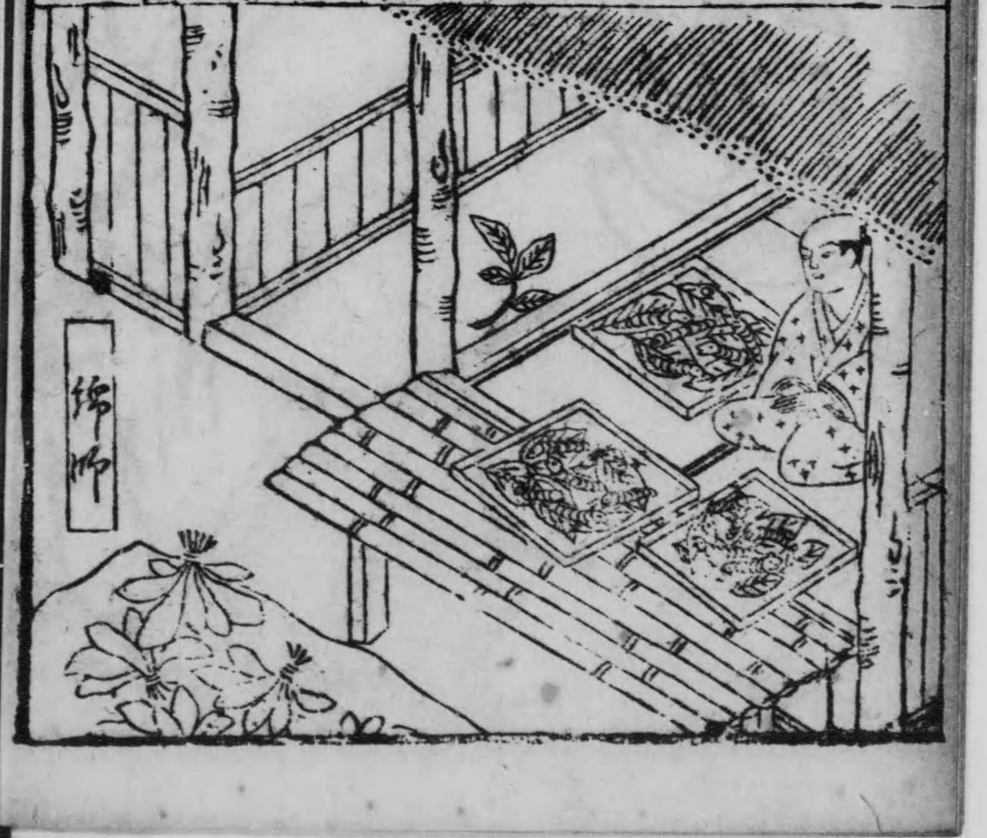
毛師　長ちの毛
の出作りもの
糸ハ三十三ぐれ門のお
御手の毛町　ひそ濃
大坂いろ抽筋ぐつ
と作りあり

燒物師　太宰の燒物
硯　茶入花入壺四ふと
ふ　肥おの長津

ちぢめくして都より
れのてをかくにあり洞
宮 高雄 嵯峨 栗田口
あり一ちりとゝ陶人
ゝ
ゝ沢潟ゝよまぜゝり

火桶作

不釋 大桶ハ赤
銅ゝ門ゝ時ゝよゝ
ゝゝゝゝ桶ゝ作
ゝゝゝゝ作ゝ
ゝゝ作ゝ
ゝゝ作ゝ
ゝゝ作ゝ



ゝゝゝゝ火桶ゝ
ゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝ

炭焼

ゝゝゝゝ 墨表
ゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝ

伯師

毎年ごとに伯宝
間暴ハ伏義よりつゞ
くれかりれ、蔵
世ぶの法ゆり脇ゆて
加茂義の保憲天文ゆり
出て一こと伯ゆりとも
ハ伯ゆ上へより安陪清明
あ伯とともゆり紀ゆ
ゆくに別へゆり伯ゆよ
白ゆ出て一ゆくく伯師と
ゆくく伯ゆ出ゆ漢ゆ
ゆかれゆて結ゆ

出ゆくく中ゆとかゆゆ
ゆのかゆゆゆゆゆ
ゆゆゆゆゆ中ゆの男女
とゆゆゆゆ別の白ゆ
ゆゆゆの白ゆゆゆゆ

石伯

ゆ男ゆ天ゆ
ゆ白ゆゆゆゆゆ
ゆゆゆゆゆゆゆ
ゆゆゆゆゆ
ゆゆゆゆ
ゆゆゆゆ

て出ずるを石鄰と云なり
[illegible]の[illegible]川の[illegible]
石と伐りてこれを[illegible]
海[illegible]柱の米[illegible]八女の
口ごしてこれをふつくく
[illegible]より出ずるなり所もてる
伐[illegible]八寺所西上てあり
大坂の横堀よりも大坂[illegible]八
[illegible]の[illegible]なり

[illegible]

[illegible]ほうちのと[illegible]
[illegible]の[illegible]
[illegible]賊の業[illegible]

極てこれを伐りてなり

[illegible]堀

[illegible]

蕨根堀

[illegible]ひの形ふ
[illegible]とりてこれを
[illegible]ひなり

車[illegible]

[illegible]川の車
[illegible]
[illegible]人[illegible]所の[illegible]
[illegible]下[illegible]

石師

石切

ぬとあのさをあけて
ねさーハやさしちゆちそう

乳子買

子と生じて四
条のことに里につまし
ひうまりれうちひめぐ
し紙ごとりぐてん里
子とあつうくしるあぐ
くこれいけまへ紙うと
乳とおもうう女里子ーう
こいのくるるでそのの
紙買よこのじちあ買
と乳子買ーうくおれ

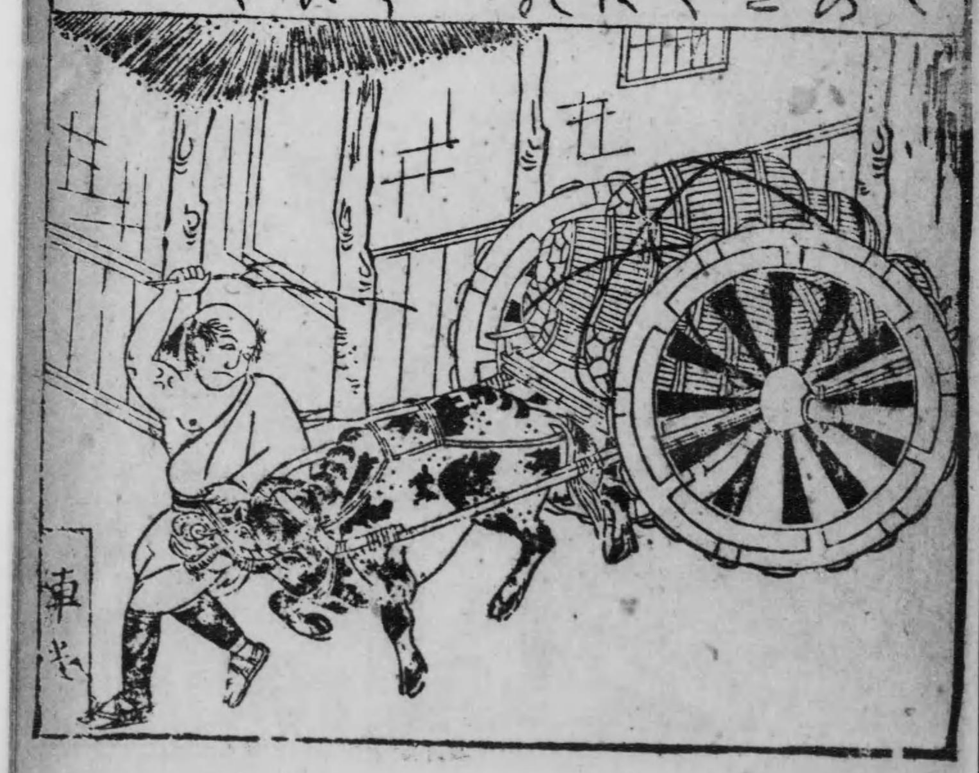
入りの高ちうしで雑
乳ある女とうつもそ何
形とうそそもちく町
くまてらどうとうこ
るあうくかやりの女
ありもありくるれ
まれくの接孫ありて子
とやーあの孫ーう屋
只都ゆちぐー

縄屋買　女の仕業とて
てふくろとかてふりもて
後牛後のとえたり後
の縄ぶれ及ばれ中の
かとこ人所のつくりの
ものを後牛後とえたり
買ものとて動くうち

痩牛よ縄後
とりけ、ちとり砂どと

蔵抵書

つて奏よ動くて人して
後足をしゆくゆよ後牛
人よ陳後うて人よ膳ご
とりやとて砂きあく
してうきあとうは
は牛牽ぞうちへめすし
後牛よりて砂十ちな
砂料三牛ゆ　ち二十ゆ
そ後ちとの
りくるトげ



車

奥荷物

丹後ゝの後ゝより
あるよりつゝて荷ゝて来ゝる大
坂より約束ゝ荷ゝ物ゝとゝ
つゝゝと来ゝよゝ八ゝ
ゝゝ入て来ゝよゝ
流ゝ山ゝ切ゝ
終ゝ戻ゝ

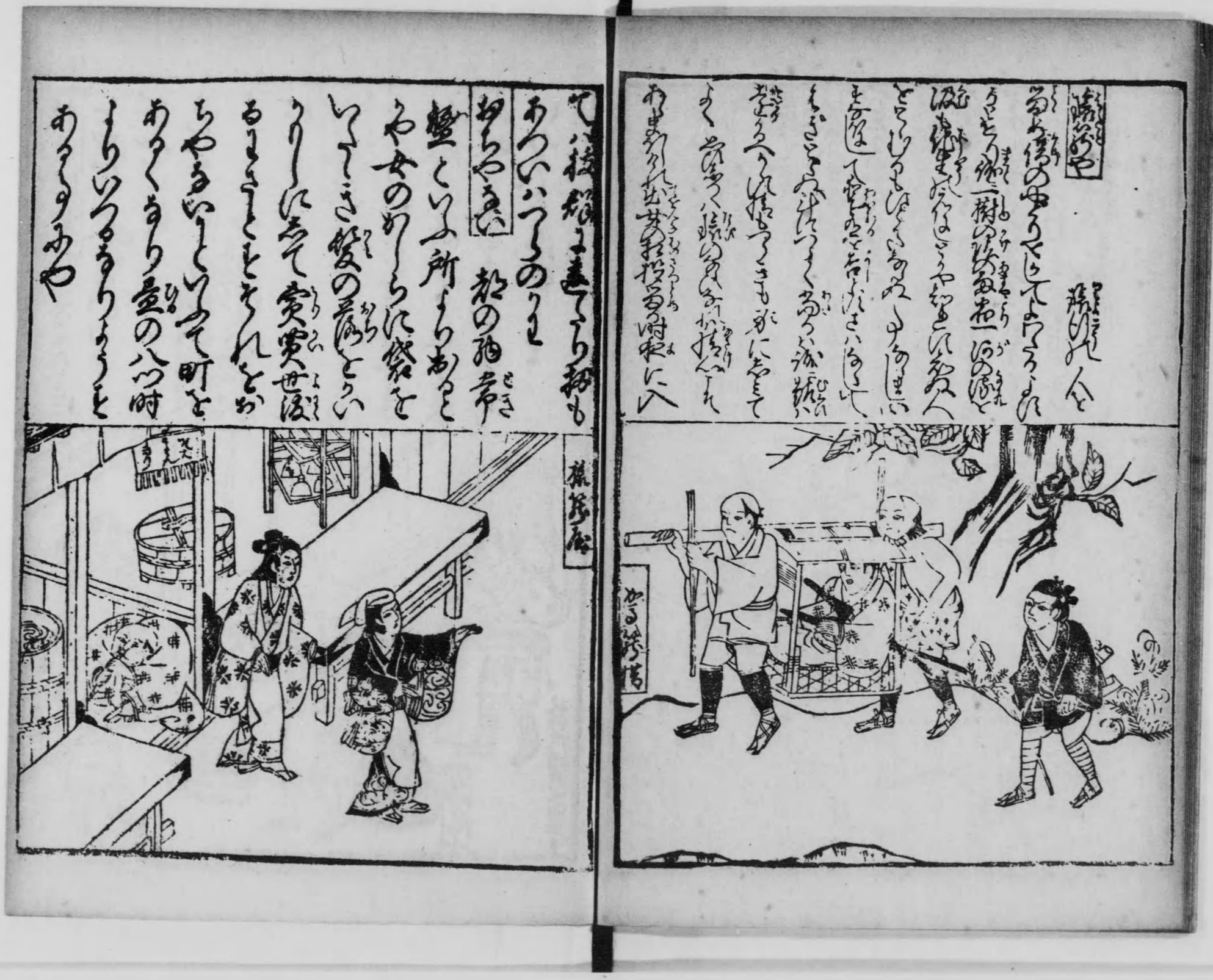
荷物

江ゝ大坂とゝゝ
あゝゝゝゝ荷物ゝ
とゝゝゝゝゝゝ
又ゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝ
ゝゝゝゝ

馬方
馬方節として一ふし
ふくハ新板よ新ぶしのうたぐ
とうしゃ大角の浄瑠
してぶるぶるとひしゃハ
ぶるるぶるとひりよ傍方も
見ものハ一風ふうとして深
氏物語をよりとりて
当世ハ民こわりれしも
して小家ぶりとりて見る
あしてしのぶまるもとに門然
くらうるつ風俗てるの脇

俳諧
しぐるハ家うけの長能城
秋しうう少人のとくもう
きりり曲まるるにハ鶴るも
鉄の浄よ札とつもてう兵
俳合の掛弦りり
風土書

馬方
魚荷物
飛脚



晴れの日
かるの茶屋

11
7
280

たんさい切賣
こまつなぎこ
とゆけよへゆるひわるてさ
だんざほうとうなり
色をとるやこの幼が城子
ともりめあ鉢又八泉水
にてるちなくさとする迄
山板皮
女のうらよ毎
をとてみりのをいてでき
山椒の皮めさねりと泉
の町うるりろまり
いろとを拍とと
山椒皮賣
たんさい賣
蔦屋佐兵三郎

終